



## 方向性4

ひと・モノ・情報がつながる  
生活基盤の充実した  
安全で快適なまちへ

### 施策体系

#### 4-1 市民の安全・安心を守る

- 4-1-1 防災対策の推進
- 4-1-2 防災体制の充実
- 4-1-3 消防・救急体制の充実
- 4-1-4 交通安全の推進
- 4-1-5 防犯対策の推進
- 4-1-6 消費生活の安定・向上

#### 4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

- 4-2-1 市街地の整備
- 4-2-2 計画的な土地利用の推進
- 4-2-3 良好な都市景観の形成
- 4-2-4 住宅・住環境の充実
- 4-2-5 生活基盤の充実

#### 4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

- 4-3-1 公共交通ネットワークの形成
- 4-3-2 道路ネットワークの形成
- 4-3-3 人にやさしい移動環境の創出
- 4-3-4 I C Tを活かした利便性の向上

## 4-1 市民の安全・安心を守る

### 4-1-1 防災対策の推進

#### 施策の展開

- 被害を最小限に抑える減災のまちづくりを進めるため、建物の倒壊や火災などによる被害の軽減、公共施設など市有建築物の耐震化を進めるとともに、緊急時の避難や復旧活動などが遅れる交通の寸断を防止するため、電線共同溝の整備や橋梁、鉄道駅、下水道施設の耐震化などを推進します。
- 雨水対策については、緊急的に対策が必要な地区について、雨水管渠や河川及び排水路の整備を進めるとともに、地域の特性に応じ、公共施設への貯留浸透施設の設置など、早期に効果が得られる取組みを進めます。また、局所的に発生する集中豪雨に対し、下水道などの公的施設の整備では浸水被害の防止に限界があるため、市民の自助を促す支援策の充実を図ります。
- 東日本大震災による地盤の液状化により著しい被害を受けた地域について、再度の災害の発生を抑制するため、道路・下水道等の公共施設と隣接宅地等との一体的な液状化対策を推進します。



柏井橋の架替（左は既設橋、右は迂回橋）

#### 計画事業

##### 1 地震等に強いまちづくり

###### ●公共施設の吊天井の補強（各所管課）

公共施設の安全を確保するため、吊天井の補強工事を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
吊天井の補強	設計 2 か所	設計 5 か所 工事 14 か所	工事 14 か所

###### ●下水道施設の耐震化（下水道再整備課、下水道施設建設課）

地震発生時の下水道の流下機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠の耐震化	15km(26年度事業量)	49.2km	49.2km
処理場の耐震化	2 か所	2 か所	2 か所
ポンプ場の耐震化	18 か所	1 か所(減災工事)	1 か所(減災工事)

### ●送・配水管の耐震化（水道事業事務所）

安定給水を図るため、送・配水管の耐震化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
送水管の耐震化、送水管布設	1,816m	1,369m	3,185m

### ●鉄道駅の耐震補強（交通政策課）

災害時における拠点機能の確保及び利用者の安全性の向上を図るため、鉄道駅における耐震補強を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強（橋脚）	242本	5本	完了（247本）

### ●橋梁の耐震化（維持管理課）

緊急時の輸送路や避難時の通行の安全を確保するため、橋梁の耐震補強を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強	107橋	20橋	127橋

### ●市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替（道路建設課）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	迂回道路供用 既設橋撤去	既設橋撤去 橋梁下部工・護岸工事	橋梁下部工完了

### ●主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替（道路建設課）

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	仮橋架設	迂回道路整備、既設橋撤去、 橋梁下部工・護岸工事	橋梁下部工工事

### ●道路施設の長寿命化（維持管理課）【再掲】

道路施設の安全性を確保するため、長寿命化計画に基づき、道路施設の計画的な補修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁の補修	122橋	78橋	200橋
横断歩道橋の補修	13橋	20橋	33橋

### ●学校施設の安全確保（学校施設課）【再掲】

児童生徒の安全確保や避難所としての機能強化を図るため、屋内運動場や校舎の天井落下防止対策などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
非構造部材等耐震対策 (校舎)	—	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校	小学校 13 校 中学校 4 校 特別支援学校 1 校
非構造部材等耐震対策 (屋内運動場)	小学校 11 校 中学校 12 校	小学校 18 校、 中学校 11 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校	小学校 19 校、 中学校 23 校 高等学校 2 校 特別支援学校 1 校

### ●緊急輸送道路沿道の建築物耐震診断費用の助成（建築指導課）

緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断を行うため、診断費用の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震診断費用の助成	1 件	3 件	4 件

### ●マンホールトイレの整備（防災対策課・下水道建設課）

災害時におけるし尿処理体制の強化を図るため、避難所で使用可能なマンホールトイレを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
マンホールトイレの整備	34 か所	23 か所	57 か所

### ●防災拠点への再生可能エネルギー導入の推進（環境保全課）【再掲】

環境負荷の低減や災害に強いまちづくりを推進するため、防災拠点への再生可能エネルギー設備の設置を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防災拠点への再生可能エネルギー等設備の設置	—	22 か所	22 か所

## 2 水害対策の推進

### ●排水施設の整備（都市河川課）

浸水被害を軽減するため、排水路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
排水路の整備	幹線 65.4km 一般 296.4km	幹線 0.6km 一般 1.6km	幹線 66.0km 一般 298.0km

### ●河川の改修（都市河川課）

流域内の浸水被害を軽減するため、勝田川や坂月川等を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
一級河川勝田川	河道築造 3,470m	宇那谷橋横断部 暫定整備	河道築造 3,470m 宇那谷橋横断部 暫定整備
二級河川坂月川	河道築造 1,580m	河道築造 1,346m	河道築造 2,926m
二級河川支川都川	河道築造 1/1.7 暫定改修済	河道築造 (1/10 改修) 基本・実施設計	河道築造 (1/10 改修) 基本・実施設計
二級河川生実川	護岸築造 179m	102m	281m

### ●都市下水路の整備（都市河川課）

市民の安全安心のため、老朽化の著しい芦太下水路を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
芦太下水路の改修	—	63m	63m

### ●雨水貯留施設の整備（都市河川課）

浸水被害を軽減するため、学校の校庭に整備した、雨水貯留施設整備の事後評価を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
事後評価	—	実施	実施

### ●浸水の防除（下水道計画課、下水道建設課、下水道営業課）

浸水被害を軽減するため、雨水管渠や雨水浸透施設等を整備するとともに、市民による防水板等の設置費用の一部を助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
雨水管渠整備	2.3km (26年度事業量)	6.6km	6.6km
雨水浸透施設の整備	浸透樹 3,371 個 浸透トレーニチ 10,840m	209 個 1,023m	3,580 個 11,863m
雨水貯留施設等の設置助成	3,064 件	535 基	3,599 基
防水板設置助成	21 件	21 件	42 件

### 3 災害による被害の抑制

#### ●市街地液状化対策の推進（市街地整備課）

大規模地震による液状化被害を抑制するため、市街地液状化対策を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市街地液状化対策	モデル地区 1地区 設計 新規地区 —	工事 1地区 調査 1地区	工事 1地区完了 調査 1地区

#### ●電線共同溝の整備（維持管理課）

安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電線共同溝整備	49.0km	1.3km	50.3km

#### ●急傾斜地崩壊防止工事の推進（都市河川課）

市民の生命を保護するため、崩壊の危険性が高い崖地を急傾斜地崩壊危険区域に指定し、崩壊防止工事を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
崩壊防止工事（市事業）	1,313m	403m	1,716m
崩壊防止工事（県事業）	3,294m	240m	3,534m

#### ●密集住宅市街地の環境整備（住宅政策課）【再掲】

安全で安心な住環境の形成を図るため、地震時等に大規模な火災の発生の可能性のある密集市街地に耐震性貯水槽を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震性貯水槽の整備	地質調査	1基	1基

#### ●公園緑地の整備（公園建設課）【再掲】

本市のスポーツ・レクリエーション及び広域的な防災の拠点とするため、蘇我スポーツ公園の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
蘇我スポーツ公園	供用 30.7ha 用地取得 22.8ha	施設整備（第4工区） 4.6ha	供用 36.9ha 27.4ha

## 4-1-2 防災体制の充実

### 施策の展開

- ✚ 東日本大震災においては自治体そのものが被災し、被災地域における初動態勢において、行政のきめ細かな対応には限界があり、市民一人ひとりが自らの命を守る「自助」の姿勢や、自分たちのまちは自分たちで守る「共助」による地域の防災力向上や、人と人とのつながりの重要性が再認識されました。
- ✚ 首都直下地震の発生の可能性が高まるなか、実効性のある防災対策を推進するため、国及び千葉県の新たな被害想定を受け、本市としての地震災害の被害想定の調査等を行います。また、大規模災害発生時の災害応急対策を強化するため、他の地方公共団体等からの応援を円滑に受けるため体制づくりを進めます。
- ✚ 災害発生時に地域住民が率先して消火や救助・救出、避難支援等を行ったり、避難所運営を行うことが、被害の拡大を防ぎ、円滑に防災・減災活動を進めるうえで重要であるため、地域住民の連帯意識に基づく自主防災組織の結成促進や、避難行動要支援者の支援体制の強化、避難所運営体制の整備などを図ります。
- ✚ 市民一人ひとりが、日頃より非常時の備蓄や避難経路等を確認するなど、防災意識の向上を図る取組みを推進します。



地域主体型防災訓練

### 計画事業

#### ● 地震被害想定の見直し（危機管理課）【新規】

防災対策を推進するため、地震災害の被害想定調査を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地震被害想定調査	—	調査	調査
地震ハザードマップ改定	—	改定	改定

#### ● 災害時支援計画（地震対策編）の策定（危機管理課）【新規】

大規模災害発生時に、他の地方公共団体等からの応援を円滑に受けるため、災害時支援計画（地震対策編）を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
災害時支援計画（地震対策編）の策定	—	策定	策定

### ■避難所運営体制の整備（防災対策課）



災害時に迅速かつ円滑に避難所の開設・運営を行うため、市民が主体となった避難所運営委員会の設立を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難所運営委員会の設立	200 か所	83 か所	完了

### ■避難行動要支援者の支援体制の強化（防災対策課）



災害時の避難行動要支援者の支援体制を強化するため、避難行動要支援者名簿を町内自治会や自主防災組織等に提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難行動要支援者名簿の提供	100 団体	300 団体	400 団体

### ●自主防災組織の結成促進（防災対策課）



地域の防災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、防災資器材の再助成を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自主防災組織の結成	997 組織	150 組織増	1,147 組織
資器材購入・賃借再助成	—	制度創設	助成

### ●地域の防災力の向上（各区役所地域振興課）



地域の防災力の向上を図るため、町内自治会との協働により自主防災マップの作成などを行うとともに、地域主体による防災訓練や避難所運営を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
中央区くらし安心・自主防災マップ	17 団体/年	4 団体/年増	4 団体/年増
花見川区地域主体型防災訓練	6 地区	2 地区/年	12 地区
稻毛区地域における防災訓練促進	—	23 団体	23 団体
若葉区自主防災組織結成促進（個別説明会）	—	10 回/年	10 回/年
緑区災害対応合同訓練	—	1 地区/年	3 地区
美浜区避難所体験教室	—	2 回/年	6 回
避難所運営委員会研修	—	4 回/年	12 回

### ● 地域防災無線の外部アンテナ（非常固定空中線）設置（防災対策課）

災害発生時の緊急情報の伝達手段を確保するため、地域防災無線機の外部アンテナ（非常固定空中線）を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
外部アンテナ（非常固定空中線）の設置	10台(26年度事業量)	実施設計 15か所 整備工事 25か所	完了

### ■ 防災リーダーの育成（防災対策課）



地域の防災力向上のため、防災ライセンス取得者の養成を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防災ライセンス講座の開催	3回/年（ライセンス取得者 262名）	6回/年	6回/年（ライセンス取得者 982名）

### ● 新庁舎の整備（管財課）【再掲】

老朽化や防災面などの課題に対応するため、新庁舎の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新庁舎整備	基本構想策定、基本計画案作成	事業手法等検討調査、執務室配置検討調査、基本設計、実施設計	実施設計

### ● 備蓄品の整備（防災対策課・危機管理課）

災害時の支援体制を強化するため、備蓄品を拡充するとともに、避難所への備蓄倉庫の設置などを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
避難所用			
備蓄品の拡充	避難者 1日分	2日分増	避難者 3日分
備蓄倉庫の設置	30か所	90か所増	120か所
LED投光器の設置	—	373台	373台
帰宅困難者用			
備蓄品の拡充	2,000人分	500人分増	2,500人分

**参加と連携** ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。**1 自主防災組織の結成**

「自主防災組織」とは、地域のみなさんが大地震などによる災害に備え、自分たちの地域は自分たちで守るという「共助」の考え方のもと、自治会などの単位ごとに結成する組織であり、防災訓練、防災マップの作成や情報伝達体制づくりなどを行います。

本市では、地域における防災・減災力の向上を図るため、自主防災組織の結成を促進するとともに、下記の助成などによる活動支援を行っています。

**【支援メニュー】**

- ・自主防災組織の結成（加入世帯数に応じた額の防災資機材と防災旗を支給します。）
- ・訓練を行ったとき（自主防災組織が行う防災訓練に対し、年度1回、助成金を交付〔助成金額は、訓練に参加した人数に80円を乗じた額〕。）
- ・活動に必要な資機材の購入時（自主防災組織が資機材を購入または賃借した場合、助成限度額の範囲内で、かかった費用の1／2を年度1回助成します。）

➡防災対策課（043-245-5113）

**2 地域の防災力の向上（各区役所）**

地域の防災力を向上するため、中央区では町内自治会と協力して、震災時の避難経路や危険箇所をマップとしてまとめる取組みを、花見川区や稻毛区では地域による防災訓練を促進する取組みを、若葉区では個別説明会による自主防災組織結成を促進する取組みを、緑区及び美浜区では小学校において親子を対象とした防災体験を行います。

➡各区役所地域振興課くらし安心室 中央区（043-221-2169）、花見川区（043-275-6224）、  
稻毛区（043-284-6107）、若葉区（043-233-8124）、緑区（043-292-8117）、美浜区（043-270-3124）

**3 避難所運営体制の整備**

市民が主体となった避難所運営委員会を設立し、災害発生時に住民ニーズに即した避難所の開設や運営ができるように取り組みます。➡防災対策課（043-245-5113）

**4 避難行動要支援者名簿の提供**

高齢者や障害者などのうち、災害時の避難行動に特に支援を要する方の名簿「避難行動要支援者名簿」を、市と協定を締結した町内自治会、自主防災組織等に提供し、災害時の地域における支援体制の構築を促進します。

## 4-1-3 消防・救急体制の充実

### 施策の展開

- ✚ 複雑化・多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防署・所の整備や、地域における防災活動の要となる消防団の器具置場の建替を行うなど、消防力の強化を図ります。
- ✚ 救急体制の充実を図るため、青葉病院救急棟の整備に併せ、救急隊員のスキルアップを図る研修施設である救急ワークステーションを整備します。また、救急救命士の養成を図ります。
- ✚ 火災予防対策については、町内自治会での防火講話をはじめ、幼少期から高齢者まで各年代で必要とされる防火知識の普及啓発を行います。また、火災発生や火災に伴う人命の危険を排除するため、立入検査等による消防法令違反事業所に対する是正指導を行います。

### 計画事業

#### ● 消防署・所の整備（消防局施設課）

複雑多様化する各種災害に対応するため、消防活動拠点である消防庁舎の新設・建替えを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
宮崎出張所の建替	実施設計	工事	供用開始
あすみが丘出張所の新設	—	地質調査、基本設計、実施設計	地質調査、基本設計、実施設計

#### ● ICT を活用した救急業務の推進（救急課）

医療機関への収容時間の短縮や救命率の向上及び後遺症の軽減を図るため、救急情報共有システムを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急情報共有システムの整備	実証実験	救急情報共有端末設置・システムの運用	運用

#### ● 航空消防防災体制の充実（航空課）

市民の安全安心を確保するため、消防ヘリコプターの法定10年点検を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ヘリコプター法定10年点検	—	点検	完了

### ●消防庁舎の機能改善（消防局施設課）

複雑多様化する各種災害に対応するため、老朽化の著しい消防庁舎の機能改善を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
空調設備改修	実施設計 1か所	工事 1か所	工事完了 1か所
屋上防水等改修	—	実施設計、工事 2か所	工事完了 2か所

### ●消防団活動体制の充実（消防局総務課）

地域における消防防災力の向上を図るため、消防団活動体制の充実を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
消防団器具置場の整備	1棟（26年度事業量）	4棟	5棟
消防団装備の充実強化	デジタル無線機 92台	デジタル無線機 19台 救命胴衣 840着	デジタル無線機 111台 救命胴衣 840着

### ■青葉病院救急ワークステーションの設置（救急課）【再掲】

救急医療体制を強化するため、青葉病院救急棟に救急隊員の研修施設である救急ワークステーションを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急ワークステーションの設置	—	設置	設置

### ■救急救命士の養成（救急課）

救急体制の充実を図るため、救急救命士の養成とともに、高度な救命処置を行うことのできる救急救命士を育成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急救命士新規養成	160人	4人/年	172人
気管挿管認定救急救命士の養成	79人	2人/年	85人
薬剤投与認定救急救命士の養成	98人	2人/年	104人
ビデオ喉頭鏡認定救急救命士の養成	59人	4人/年	71人

### ■応急手当の普及啓発（救急課）

救命率の向上を図るため、救命講習会を開催するとともに、市民ボランティアによる応急手当インストラクターやジュニアインストラクターを養成し、市民と協働した応急手当の普及啓発を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救命講習会等開催	500回/年（年間受講者数 28,000人）	500回/年（年間受講者数 28,000人）	500回/年（年間受講者数 28,000人）
応急手当普及協力事業所の認定	436件	90件	526件

## ■住宅防火対策の推進（予防課）

火災予防体制の充実を図るため、幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識を普及啓発します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
幼少年向け住宅防火教育	30回	300回	330回
住宅防火講話	350回	1,081回	1,432回

### 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



#### 1 消防団活動体制の整備

消防団は、火災予防の広報や警戒警備のほか、火災や地震などの発生時に、災害現場に駆けつけ、消防職員と協力して災害現場活動を行っています。市内6方面（区）の18分団・72部に分かれて、災害に強いまちづくりを目指して活動しています。

18歳以上の市内在住、在勤または在学の方の入団を募集しています。 ☎ 消防局総務課（043-202-1635）



#### 2 応急手当の普及・啓発

救急車が到着するまでの間、けがや病気など、生命の危機に瀕する恐れのある人に対し速やかな応急手当を行えば、救命率が向上する場合があります。市では、市民のみなさんが応急手当の方法を学ぶ場として、心肺蘇生法や止血法などの知識・実践のための救命講習会を開催しています。

また、市民と一体となった応急手当普及啓発を実践するために、応急手当普及員の資格を取得された方を対象に『スキルアップ講習』を定期的に開催しています。 ☎ 消防局救急課（043-202-1657）

## 4-1-4 交通安全の推進

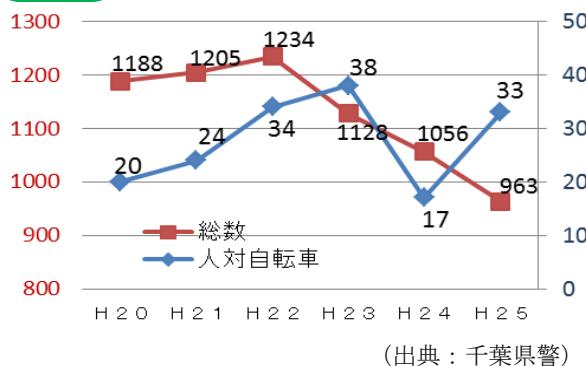
### 施策の展開

- 近年、本市の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、市民が安全・安心に通行できるよう、歩道の整備や交差点の改良、夜間交通の安全を図る道路照明灯など交通安全施設の設置などを、引き続き進めます。
- 自転車に係る交通事故の減少など、安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等の整備を推進します。また、自転車のルールやマナー遵守を徹底するため、警察等関係機関と連携し、交通安全教育の普及・啓発を進めます。
- 鉄道駅周辺などの放置自転車は、自転車駐車場の整備や放置自転車の撤去などを進めてきた結果、平成26年（2014年）には約2千台となるなど、着実に減少しています。放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直し、取組みを推進するとともに、買い物による短時間の駐輪など、利用特性に応じた駐輪スペースの確保を進めます。



自転車走行ルールの実技講習

図表 11 本市の自転車に係る交通事故



自転車レーン（自転車専用通行帯）

### 計画事業

#### 1 歩行者等の安全確保と交通の円滑化

##### ●歩道の整備（道路計画課、道路建設課）

歩行者の安全性を確保するため、歩道を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	設計 1路線 (26年度事業量)	4路線	4路線
用地取得	用地取得 2路線 (26年度事業量)	3路線	3路線
整備	整備 3路線 (26年度事業量)	2路線	2路線

### ● 交差点の改良（道路計画課、道路建設課）

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交差点を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	3か所(26年度事業量)	11か所	11か所
用地取得	1か所(26年度事業量)	7か所	7か所
整備	2か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

### ● 交通安全施設の充実（維持管理課）

道路利用者の安全性・快適性の向上及び交通の円滑化を図るため、道路照明灯や道路案内標識等の設置とともに、通学路の交通安全対策を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路案内標識	626基	9基	635基
地点名標識	460か所	11か所	471か所
道路照明灯	19,000基	34基	19,034基
通学路の安全対策	合同点検及び対策 (2巡目着手)	合同点検及び対策 (2巡目完了、3巡目着手)	合同点検及び対策 (2巡目完了、3巡目着手)

### ● 踏切道の安全対策（維持管理課）

踏切事故防止のため、踏切内に歩道を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
踏切道の改良	1か所(26年度事業量)	1か所	1か所

### ● 生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）【再掲】

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

## 2 安全で快適な自転車利用環境の創出

### ● 自転車走行環境の整備（自転車対策課）

安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車レーン等の整備	13.9km	23.8km	37.7km

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）

放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直すとともに、電磁ロック式自転車ラックや監視カメラの設置を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車等の駐車対策に関する総合計画の見直し	—	見直し	見直し
電磁ロック式自転車ラックの導入	117台	724台	841台
監視カメラ設置	18基	91基	109基

### ■自転車安全利用の促進（市民サービス課）

自転車の交通ルールの順守やマナー向上を図るため、スクエアード・ストレイト教育技法を取り入れた交通安全教室を実施します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
交通安全教室の実施	2回/年	1回/年増	3回/年

### ●自転車によるまちづくりの推進（政策企画課）

安全で快適な走行環境や新たなまちづくりなど、自転車によるまちづくりを総合的に推進するため、市民や団体、企業等と連携し、自転車まちづくり基本方針や自転車まちづくり条例を制定します。

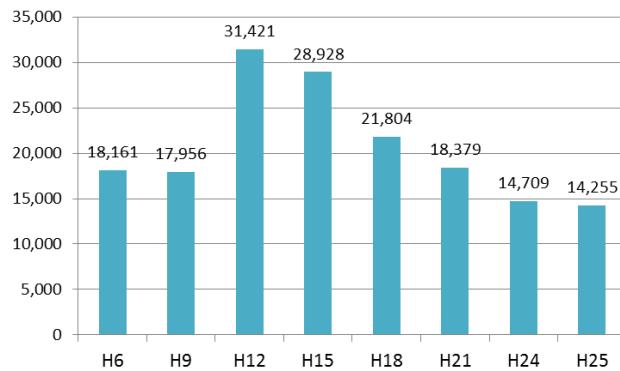
取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車まちづくり基本方針の策定	素案作成	策定	策定
自転車まちづくり条例の制定	—	制定	制定

## 4-1-5 防犯対策の推進

### 施策の展開

- 市内の犯罪発生件数は、近年、減少傾向にありますが、自転車や自動車の盗難、車上ねらいなど市民生活に身近な場所で発生する、いわゆる街頭犯罪が多数発生しています。
- 市民が治安のよさを実感することができるよう、地域における防犯パトロールなど、市民主体の防犯活動を支援するとともに、犯罪行為等を発見したときの通報や防犯啓発活動など、事業者や警察と協力し、犯罪抑止のネットワークの構築などの取組みを進めます。
- また、自転車駐車場における自転車の盗難を防止するため、監視カメラを設置します。
- 防犯街灯について、適切な明るさを確保したうえで、設置費や電気料金などのコスト抑制を図るため、LED化を推進します。

図表 12 市内の刑法犯認知件数の推移



### 計画事業

#### ●中央区ご近所防犯（中央区役所地域振興課）



安全で安心なまちづくりを推進するため、町内自治会による防犯活動に対し物品を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯活動団体への物品支援（防犯ステッカー、防犯パトロール支援物品）	4団体/年	3団体/年増	3団体/年増

#### ■花見川区地域防犯対策（花見川区役所地域振興課）



地域防犯対策等の強化を図るため、区内の各事業所・福祉施設等を防犯ステーションとして登録するとともに、人材の育成・確保及び防犯意識の普及啓発などに取り組みます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯ウォーキングボランティアの登録	2,600人	1,100人	3,700人
防犯ステーションの登録	36か所	20か所/年	96か所

### ■美浜区地域防犯力の向上（美浜区役所地域振興課）



地域の防犯体制を強化するため、町内自治会や警察と連携した合同パトロールなどを推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
美浜区安全会議	2回	2回/年	8回
合同防犯パトロール	—	11回	11回
振り込め詐欺防止啓発	—	16回/年	48回

### ■地域防犯ネットワークの促進（市民サービス課）



安全で安心なまちづくりを推進するため、市民、事業者、警察及び市が連携して地域防犯に取り組むネットワークを構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯への協力に関する覚書 締結	58団体	3団体	61団体

### ●学校防犯対策の推進（学事課）【再掲】

子どもの安全を確保するため、小・中学校等に防犯カメラシステムを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
学校防犯カメラシステム の設置	61校	9校	70校

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）【再掲】

自転車盗難の未然防止のため、自転車駐車場に監視カメラを設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
監視カメラ設置	18基	91基	109基

### ●防犯街灯のLED化（市民サービス課）

環境への配慮及び経費節減のため、従来の水銀灯の全灯LED化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
防犯街灯のLED化	方針決定	51,000灯	完了

## 参加と連携

～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



## 1 防犯パトロール活動

「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防犯意識のもと、720団体以上の防犯パトロール隊が、地域の防犯活動を行っています。市では、地域で防犯活動を行う団体に対し、防犯パトロールに必要な物品を配布する支援を行っています。

➡市民サービス課 (043-245-5264)

## 2 地域防犯への協力に関する覚書の締結

市では、犯罪の未然防止などを図るため、事業者との間で「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」を締結しています。事業者の皆さんのが、業務中に犯罪や事故、犯罪被害者を発見した場合には、速やかに警察等に通報してもらうほか、防犯ステッカーを車両などに張り、防犯に関する啓発活動を行っています。➡市民サービス課 (043-245-5264)



防犯ステッカー

## 4-1-6 消費生活の安定・向上

### 施策の展開

- ✚ 高度情報通信社会の進展などにより、市民の消費生活をめぐる環境は大きく変化しており、携帯電話やパソコンを使った架空請求やインターネットを介した海外の者との取引によるトラブルなどをはじめ、相談内容が複雑化・多様化し、被害も深刻化しています。
- ✚ 市民が消費者として安全・安心に生活ができるよう、消費生活講座など普及啓発を行うとともに、悪質商法や詐欺などによる被害の未然防止のため、くらしの巡回講座を実施するほか、消費者教育を行う事業者や団体との協働による取組みを推進します。
- ✚ また、被害に遭った市民に対し、消費生活相談員による助言・あっせんを行います。
- ✚ さらに、被害を受けやすい若者や高齢者への対策として、民生委員や市内大学などとの連携を強化するとともに、被害防止のための啓発活動などを推進します。

### 計画事業

#### ■ 消費者教育の推進（消費生活センター）

市民の安全・安心を確保するため、事業者、団体、市民等と協働により、消費者教育を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
ちばし消費者応援団の普及啓発（ステッカー配布等）	50 団体 —	30 団体/年増 個人 120 人/年 増	140 団体 360 人

## 4-2 快適な暮らしの基盤をつくる

### 4-2-1 市街地の整備

#### 施策の展開

- ⊕ JR千葉駅西口地区について、千葉駅東口に集中する交通機能の分散と臨海部への玄関口としてのふさわしい街並み形成のため、商業・業務機能の集積を図る再開発ビルの建設や、道路・交通広場等の公共施設を整備してきました。引き続き、土地の合理的かつ健全な高度利用を図るため、総合病院を中心として多世代の人々が集うにぎわいの創出を図るとともに、周辺公共施設の整備を行います。
- ⊕ また、JR千葉駅東口の細分化された街区の一体利用により、土地の合理的かつ健全な高度利用と、商業・業務機能の更新を図るため、民間による再開発事業を促進します。
- ⊕ JR稻毛駅周辺などの生活機能拠点について、新たな状況に対応した魅力ある市街地形成に向けた取組みに対し、連携・支援などを行うとともに、検見川・稻毛地区や寒川第一地区など、土地区画整理事業による健全な市街地の形成を図ります。
- ⊕ JR幕張駅は、総武線沿線では唯一、駅前広場が未整備であることや、幕張本郷駅が幕張新都心へのアクセス駅として慢性的に渋滞しているため、市民生活に必要な都市基盤施設の整備やバス等の交通結節性の向上を図るなど、生活機能拠点として育成を推進します。

#### 計画事業

### 1 既成市街地・市街化進行地域の整備

#### ●千葉駅西口地区第二種市街地再開発（B工区）（まちづくり推進課）

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、医療などの機能を駅前に導入するとともに、新たな賑わいを創出する再開発ビルの整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビルB棟の整備	都市計画変更協議	工事	供用開始
公共施設整備	公共施設管理者との協議	Eデッキ橋製作、下水道工事、新千葉公園整備工事	供用開始

### ●千葉駅東口地区第一種市街地再開発（まちづくり推進課）

千葉都心の土地の高度利用と建築物の機能更新のため、千葉駅東口地区の第一種市街地再開発を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
再開発ビル整備助成	関係者協議	整備助成	整備助成
公共施設整備（駅前広場改修など）	関係者協議	駅前広場改修	駅前広場改修

### ●検見川・稻毛土地区画整理（検見川稻毛土地区画整理事務所、政策企画課）

良好な居住環境を有する市街地の形成を図るため、建物移転や幹線道路整備等により公共施設の整備・改善を行います。また、事業区域内未利用地の有効活用の検討を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	194戸	12戸	206戸
道路築造	12,700m	70m	12,770m
宅地造成	293,600 m <sup>2</sup>	1,750 m <sup>2</sup>	295,350 m <sup>2</sup>

### ●寒川第一土地区画整理（寒川土地区画整理事務所）

都市計画道路及び下水道施設を優先的に整備するため、関連する建物移転を推進し、公共施設の整備・改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	318戸	11戸	329戸
道路整備	2,029m	225m	2,254m
下水道整備	3,305m	792m	4,097m

## 2 生活機能拠点の整備

### ●東幕張土地区画整理（東幕張土地区画整理事務所）

良好な居住環境の形成を図るため、駅前広場を含む幹線道路等の早期完成に向け、公共施設の整備・改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
建物移転	153戸	72戸	225戸
道路築造	2,270m	810m	3,080m
宅地造成	25,700 m <sup>2</sup>	19,100 m <sup>2</sup>	44,800 m <sup>2</sup>

## 4-2-2 計画的な土地利用の推進

### 施策の展開

- 本市は近い将来、人口減少を迎えるとともに、少子超高齢化が進展しており、市民の安全で快適な生活と効率的な都市経営との両立を図る都市づくりを進める必要があります。集約型都市構造への転換を見据えた、本市の都市づくりの将来像や方向性を明らかにする都市計画マスタープランを策定します。
- また、都市計画は土地利用のルールや都市基盤施設の立地等を定めるなど、市民生活と密接な関わりを持つため、福祉や安全・安心など市民の関心の高い地域課題やニーズに対応しながら、地域の将来像を市民が共有し、自主的に地区計画や建築協定などまちづくりのルールづくりを行う取組みを支援します。

### 計画事業

#### ●都市計画マスタープランの見直し（都市計画課）

社会情勢の変化に対応した都市づくりを進めるため、集約型都市構造への転換を見据えた都市計画マスタープランを策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市計画マスタープラン策定	計画案作成	策定	策定

#### ■「やってみようよまちづくり」支援（まちづくり推進課）



参加と協働によるまちづくりを推進するため、地区計画や建築協定などを活用したまちづくりの知識・情報の習得を支援します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公開講座の開催	6回	6回	12回
アドバイザー派遣	21回	24回	45回
活動支援	1団体	3団体	4団体

### 参加と連携

#### ～市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。



##### 1 やってみようよまちづくり

市民のみなさんが、自分たちのまちづくりを考えたり、まちづくり活動を進めるにあたり、市では、様々なメニューでみなさんを支援しています。

（支援メニュー）まちづくり公開講座、まちづくり出前講座、まちづくりアドバイザー派遣、まちづくり活動支援

☎まちづくり推進課（043-245-5311）

## 4-2-3 良好な都市景観の形成

### 施策の展開

- 本市の景観は、都市の発展に基づく土地利用の変遷により、埋立てによる海際の市街地と内陸部の市街地、さらに市街化調整区域に広がる里山や谷津などの田園の大きく3つのゾーンに区分することができますが、近年、都市空間が画一化しており、地域の特性が見えにくくなっています。
- 身近な生活環境を大切にしたい、都市にうるおいやゆとりを回復したいといった市民意識の変化や、にぎわいのある都市空間への期待など、社会情勢や市民の景観形成に対するニーズに対応するため、積極的かつ効果的な都市景観の形成を進めます。
- また、より魅力ある景観の形成を推進するため、本市が目指すべき景観形成の目標を掲げるとともに、市民や事業者と協働で魅力ある千葉らしさの感じられる景観づくりを進めます。

#### 本市の景観形成のテーマ

「うみ・まち・さとの魅力を活かした ちばの景観づくり」



「うみ」（幕張新都心）



「まち」（千葉都心）



「さと」（下泉町の谷津田）

### 計画事業

#### ■景観形成の推進（都市計画課）

地域の特性を活かした魅力的なまちづくりを推進するため、景観形成推進地区の指定等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
景観形成推進地区の指定	1地区	1地区	2地区

#### ●谷津田の保全と活用の推進（環境保全課） 【再掲】

谷津田の自然を保全するため、谷津田保全区域の指定の拡大を行うとともに、保全団体等への活動支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
谷津田保全協定の締結	48.6ha	9ha 拡大	57.6ha
NPO団体等への活動支援	3団体	1団体増	4団体

■ 里山の保全（農業経営支援課）  【再掲】

里山地区の保全管理活動を促進するため、市民参加によるイベント等を開催します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
市民参加によるイベント等の開催	1地区	1地区増	2地区

■ 中心市街地の緑化の推進（緑政課）【再掲】

中心市街地の緑化を推進するため、建物屋上や壁面の緑化に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
屋上・壁面緑化への助成	7件	5件/年 増	22件

## 4-2-4 住宅・住環境の充実

### 施策の展開

- 本市では、65歳以上の高齢者のいる世帯数が増加しており、特に高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加しています。高齢者等が支援や介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住宅のバリアフリー化や、安否確認、身近な生活相談など、福祉施策と連携したサービスを提供する住宅の供給を促進します。
- また、民間の賃貸住宅において、入居を敬遠されがちな高齢者の単独世帯などが、安心して住宅を借りるための支援を進めます。
- 本市の住宅ストックをみると、高度経済成長期に建設された住宅が多く、新耐震基準（昭和56年〔1981年〕）以前に建築された住宅が、全体のおよそ3割となっています。良質な住宅ストックを形成するため、耐震基準を満たさない住宅の耐震化を促進します。
- 市営住宅については、老朽化や入居者に占める高齢単独世帯の増加、市域における区別の戸数の不均衡などが生じています。既存ストックの活用を基本とし、今後の住宅需要や立地、費用対効果などを考慮したうえで、建替えなどを進めます。
- 管理不全の状態の空き家等について周辺住民が不安に感じ、多くの相談が寄せられています。生活環境の保全や犯罪の未然防止のため、空き家等の適正管理に関する条例に基づき、適正な管理を促進します。また、良質な空き家等については、地域コミュニティの活性化を目指し、有効活用の検討を進めます。



桜木町団地建替え（イメージ）

### 計画事業

#### 1 高齢者等への居住支援

##### ■ サービス付き高齢者向け住宅供給の促進（住宅政策課）

高齢者が安心して暮らせる住宅の供給を促進するため、サービス付き高齢者向け住宅の適正管理を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
立入検査	16件	36件	52件

##### ● 民間賃貸住宅の入居支援（住宅政策課）

民間賃貸住宅への入居機会と居住安定確保を図るため、住宅の確保が困難な高齢者等に対し、入居を拒まない民間賃貸住宅の情報提供及び居住支援を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
保証委託料の助成	14件	15件	29件

## 2 安全で安心な住まいづくりへの支援

### ●密集住宅市街地の環境整備（住宅政策課）

安全で安心な住環境の形成を図るため、地震時等に大規模な火災の発生の可能性のある密集市街地に耐震性貯水槽を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震性貯水槽の整備	地質調査	1基	1基

### ●耐震診断・耐震改修の助成（住宅政策課）

地震発生時の住宅の安全性向上を図るため、木造住宅や分譲マンションの耐震診断及び耐震改修に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震診断			
木造住宅	496戸	120戸	616戸
分譲マンション	667戸	3棟	823戸
耐震改修			
木造住宅	302戸	120戸	422戸
分譲マンション	設計163戸	設計3棟、工事3棟	設計319戸、工事156戸

## 3 市営住宅の整備

### ●市営住宅の整備（市営住宅の建替え）（住宅整備課）

市営住宅を計画的・効率的に再整備するため、老朽化した市営住宅の建替え等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
桜木町団地	実施設計	建築工事、道路整備	完了
宮野木町第2団地	基本設計	実施設計、建築・設備工事	完了
小倉台団地	基本計画	基本・実施設計、建築・設備工事	建築・設備工事
園生町第2団地	－	基本・実施設計	実施設計

### ●市営住宅の整備（市営住宅の改善）（住宅整備課）

市営住宅を長く使うため、「市営住宅長寿命化・再整備計画」に基づき、改善を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
長寿命化型改善	外壁 4 団地	5 団地	9 団地
	屋上防水 5 団地	3 団地	8 団地
	給水設備 3 団地	3 団地	6 団地
	屋外排水升 一	3 团地	3 团地
福祉対応型改善	住戸改善 19 戸	24 戸	43 戸
	住宅内手摺 407 戸	630 戸	1,037 戸

## 4 住宅・住環境の充実

### ●地域再生支援（住宅政策課）

地域の居住環境の向上及び地域コミュニティの再生を図るため、一定の要件を満たす分譲マンションの建替えを行う管理組合等に対し、計画策定・設計・工事に要する経費の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
マンション管理組合等への助成	—	計画策定 1 件 第1期工事 1 件	第1期工事 1 件

### ●空き家対策の推進（住宅政策課）

多世代共生型の地域社会の構築を目指すため、居住者の高齢化の著しい団地などの空き家に若年世帯の流入を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域コミュニティ活性化のための空き家有効活用支援	調査・研究	モデル事業 1 件	モデル事業 1 件

### ●太陽光発電設備等設置助成の推進（環境保全課）【再掲】

再生可能エネルギーの導入を支援し、環境にやさしいまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電設備や太陽熱利用給湯システム等の設置に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
太陽光発電設備 (戸建)	2,699 件	2,100 件	4,799 件
(分譲マンション)	—	3 件	3 件
太陽熱利用給湯システム (住宅用)	34 件	30 件	64 件
(事業用)	—	3 件	3 件
家庭用燃料電池システム	245 件	900 件	1,145 件

## 4-2-5 生活基盤の充実

### 施策の展開

- ⊕ 通勤や通学、買い物など、市民生活を支える生活道路について、通行の安全性を確保するため、改良を進めます。
- ⊕ 汚水の排水処理については、今後、更新の時期を迎える污水管が急速に増加する見込みであり、老朽化による劣化や不具合に起因する道路陥没、これに伴う流下阻害を防止するため、ライフサイクルコストの観点を踏まえた適切な改築・更新を行います。
- ⊕ 市民の墓地需要に対応するため、平和公園の拡張整備を進めるとともに、斎場周辺の環境整備を行います。
- ⊕ 本市の保有する資産について、中長期的な視点に立ち、資産の利用状況を踏まえた複合化や集約化などの効率的な利用を進めるとともに、施設の保全について、施設の長寿命化や改修費用の縮減などの最適化を図ります。
- ⊕ また、人口構成や社会ニーズなど将来的な変化に適切に対応する市政運営の拠点として、防災拠点などの機能を併せ持つ、新庁舎整備を進めます。

### 計画事業

#### 1 生活道路等の整備

##### ●生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

##### ●市道横戸町23号線の整備（道路建設課）

歩行者等の安全確保及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	2,524 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	
道路整備	—	440m	供用開始

##### ●狭あい道路の拡幅（建築指導課、維持管理課）

安全で良好な住環境の形成を図るため、寄付される道路後退用地内の壁の撤去費などの一部に助成するとともに道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
狭あい道路の整備	13.3km	1.5km	14.8km

### ●舗装の新設（維持管理課）

生活道路の安全で快適な利用を図るため、舗装を新設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装の新設	1.1km (26年度事業量)	3.6km	3.6km

### ●舗装の改良（維持管理課）

道路の安全で快適な利用を図るため、舗装を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装の改良	12.7km (26年度事業量)	35.8km	35.8km

### ●側溝の新設（維持管理課）

雨天時の排水機能の確保と生活環境の向上のため、側溝を新設します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
側溝の新設	2.2km (26年度事業量)	4.7km	4.7km

### ●側溝の改良（維持管理課）

老朽化等による排水機能低下の防止や道路空間の有効活用のため、側溝を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
側溝の改良	7.3km (26年度事業量)	19.1km	19.1km

### ●私道の整備助成（維持管理課）

道路利用者等の生活環境の向上を図るため、私道の舗装や排水施設の整備費の一部に助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
舗装及び排水施設整備助成	3件 (26年度事業量)	5件/年	15件

### ●都市計画道路新港横戸町線の関連道路整備（街路建設課）

地域の連携を支える地域高規格道路の整備に伴う環境保全を図るため、周辺の生活道路等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 89%	28m <sup>2</sup>	28m <sup>2</sup>
道路整備	—	205m	205m

### ●都市計画道路美浜長作町線の関連道路整備（街路建設課）

都市計画道路美浜長作町線関連道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 56%	397m <sup>2</sup>	完了

## 2 下水道施設の整備

### ●汚水の排除（汚水管渠の整備）（下水道建設課）

衛生的で快適な生活環境を整えるため、汚水管渠の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
汚水管渠の整備	12,262ha	20ha	12,282ha

### ●老朽化下水道施設の改築・更新（下水道再整備課、下水道施設建設課）

下水道施設の機能を適正に維持するため、老朽化した管渠及び処理場・ポンプ場を改築・更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠	3km（26年度事業量）	32.7km	32.7km
処理場（機械・電気設備）	更新工事2か所 (26年度事業量)	2か所	2か所
ポンプ場（機械・電気設備）	更新工事8か所 (26年度事業量)	10か所	10か所

### ●下水道施設の適正な維持管理（施設の点検・補修）（下水道維持課）

良好な生活環境を守り、安定的な下水道サービスを市民に提供するため、下水道施設の調査・点検を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
カメラ調査・点検	—	600km	600km
人孔蓋更新	—	420か所	420か所
草野水のみち護岸改良	1,363m	450m	1,813m

### ●下水道施設の耐震化（下水道再整備課、下水道施設建設課）【再掲】

地震発生時の下水道の流下機能を確保するため、管渠や処理場・ポンプ場の耐震化を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
管渠の耐震化	15km（26年度事業量）	49.2km	49.2km
処理場の耐震化	2か所	2か所	2か所
ポンプ場の耐震化	18か所	1か所（減災工事）	1か所（減災工事）

### ● 浸水の防除（下水道計画課、下水道建設課、下水道営業課）【再掲】

浸水被害を軽減するため、雨水管渠や雨水浸透施設等を整備するとともに、市民による防水板等の設置費用の一部を助成します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
雨水管渠整備	2.3km (26年度事業量)	6.6km	6.6km
雨水浸透施設の整備	浸透枠 3,371個 浸透トレンチ 10,840m	209個 1,023m	3,580個 11,863m
雨水貯留施設等の設置助成	3,064件	535基	3,599基
防水板設置助成	21件	21件	42件

## 3 市営水道の整備等

### ● 水道事業の第3次拡張（水道事業事務所）

未給水区域の解消を図るため、配水管布設などを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
配水管整備	1,360m	4,200m	5,560m

### ● 净水場の設備の更新（水道事業事務所）

安定給水を図るため、浄水場等の電気・機械設備を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
平川浄水場電気・機械設備更新	電気・機械設備機能 診断調査一式	長寿命化計画策定 実施設計、電気機械設備 (受変電設備)	電気機械設備更新

### ● 上下水道料金の徴収一元化（下水道営業課）

上下水道料金の徴収一元化に向け、関係機関と協議し、システム開発を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
システム開発	仕様作成	システム開発、データ移行	料金徴収一元化

## 4 墓地・斎園環境の整備

### ● 平和公園の拡張・整備（生活衛生課）

墓地を安定的に供給するため、平和公園を拡張整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
A地区整備	立木伐採	立木伐採、基本設計見直し、実施設計	実施設計

### ●斎園周辺（斎場・平和公園）環境の整備（生活衛生課）

斎場及び平和公園周辺の良好な環境を整備するため、道路の整備・親水広場の整備や雑草除去を実施するとともに、公園緑地の整備の検討を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	5路線供用	用地取得 3路線 道路整備 1路線 排水路整備 1路線	用地取得 3路線 道路整備 1路線 排水路整備 1路線
親水広場整備	用地取得	用地取得	用地取得

## 5 適正な資産経営等の推進

### ■公共施設等の総合的管理の推進（資産経営課）

公共施設等の管理を総合的かつ計画的に行うため、公共施設等の施設管理の基本的な考え方などを示す「公共施設等総合管理計画」を策定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公共施設等総合管理計画の策定	計画案の作成	策定	策定

### ●区役所の改修（市民サービス課）

安全で安心な市民利用を確保するため、区役所を改修します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
稻毛区役所空調熱源改修	設計	工事	工事
中央区役所・美術館消防用設備修繕	—	工事	工事

### ●新庁舎の整備（管財課）

老朽化や防災面などの課題に対応するため、新庁舎の整備を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新庁舎整備	基本構想策定、基本計画案作成	事業手法等検討調査、執務室配置検討調査、基本設計、実施設計	実施設計

### ●道路施設の長寿命化（維持管理課）

道路施設の安全性を確保するため、長寿命化計画に基づき、道路施設の計画的な補修を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁の補修	122橋	78橋	200橋
横断歩道橋の補修	13橋	20橋	33橋

●橋梁の耐震化（維持管理課）【再掲】

緊急時の輸送路や避難時の通行の安全を確保するため、橋梁の耐震補強を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強	107 橋	20 橋	127 橋

●市道三角町柏井町線（柏井橋）の橋梁架替（道路建設課）【再掲】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している柏井橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	迂回道路供用 既設橋撤去	既設橋撤去 橋梁下部工、護岸工事	橋梁下部工完了

●主要地方道穴川天戸線（亥鼻橋）の橋梁架替（道路建設課）【再掲】

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高齢化している亥鼻橋を架け替えるため、橋梁を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
橋梁架替	仮橋架設	迂回道路整備、既設橋撤去、橋梁下部工、護岸工事	橋梁下部工 工事

## 4-3 ひと・モノ・情報がつながる基盤をつくる

### 4-3-1 公共交通ネットワークの形成

#### 施策の展開

- ⊕ 本市の公共交通は、主に広域の移動を担うJR及び京成電鉄各線、モノレール及び複数の民間事業者によるバスが運行されています。これらの公共交通の利用者数は増加していますが、郊外部において利用者が減少している地域があり、減便や撤退が発生しています。一方、子どもや妊産婦、高齢者などの移動手段として公共交通への期待が高まっています。
- ⊕ 郊外部の交通不便地域における公共交通の維持・確保のため、地域参画型コミュニティバス等の導入支援を行うとともに、公共交通の利用促進とバス利用者の利便性向上のため、バスロケーションシステムなどの導入を促進します。
- ⊕ また、広域な鉄道ネットワークの接続改善により、東京都心などへのアクセス性の向上を図るため、鉄道事業者等と協議を行い、京葉線とりんかい線の相互直通運転の試行運行の実現を促進します。
- ⊕ さらに、鉄道駅から離れた郊外部の交通アクセス改善のため、パーク＆ライド方式の社会実験を行います。

#### 計画事業

##### ●バス活性化システムの整備（交通政策課）

公共交通の利便性を高めるため、バスロケーションシステムの導入を促進するとともに、バスロケーションシステム間の連携システムをバス事業者と共同で整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
バスロケーションシステム導入助成	1社	3社	4社
バスナビシステム整備	—	システム開発	システム運用

##### ●地域参画型コミュニティバス等導入の推進（交通政策課）

公共交通が不便な地域での移動手段を確保するため、地域主体によるコミュニティバス等の導入を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
地域参画型コミュニティバス	—	モデル運行 1地区 (山王町)	モデル運行 1地区 (山王町)
パーク＆ライド社会実験	—	社会実験 (花見川区)	社会実験 (花見川区)

### ● JR京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進（交通政策課）

鉄道交通の利便性の向上を図るため、JR京葉線と東京臨海高速鉄道りんかい線の相互直通運転の促進を図ります。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
相互直通運転の促進	協議会設置 利用実態調査	相互直通運転に向けた調査、試行運転	試行運転

### ● JR千葉駅建替えの促進（まちづくり推進課）【再掲】

千葉駅周辺の魅力向上と利便性の向上を図るため、JRとモノレールを連絡する通路などを整備します。また、千葉駅西口広場とJR千葉駅の駅ビルを接続するデッキの整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅連絡通路の整備	モノレール駅舎設備改修設計	工事	供用開始
北部階段の整備	ボーリング工事	工事	供用開始
接続デッキの整備	工事（JR）	工事（JR）	供用開始

### ● モノレール千葉駅舎の改修（交通政策課）【再掲】

千葉駅利用者の利便性と快適性の向上を図るため、モノレール千葉駅舎の改修等を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール千葉駅舎の改修	—	実施設計、工事	工事

### ● 鉄道駅の耐震補強（交通政策課）【再掲】

災害時における拠点機能の確保及び利用者の安全性の向上を図るため、鉄道駅における耐震補強を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
耐震補強（橋脚）	242本	5本	完了（247本）

### ● モノレール施設の設備更新（交通政策課）

モノレールの安全な運行及び利便性の向上のため、モノレール施設の設備更新を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
インフラ外施設	正電車線、自動火災報知機	正電車線、直流電源バッテリー	正電車線、直流電源バッテリー

**参加と連携** ~市民のみなさんの参加やつながりが「まちづくりの底力」です。 

#### 1 地域参画型コミュニティバス等

一部地域においては、地域住民の参画により、経費負担のあり方も含めたコミュニティバス等の運行が検討されています。公共交通の維持が困難な地域への対応は、本市の交通政策にとって重要な課題であることから、地域住民や交通事業者との連携・協働や、地域住民等の経費負担のあり方を検討していきます。➡交通政策課（043-245-5352）

## 4-3-2 道路ネットワークの形成

### 施策の展開

本市の幹線道路網は、千葉都心部を中心とした放射環状道路で構成されていますが、いまだ未整備区間が多く、ネットワーク化が不十分であることから、交通渋滞が発生し、都市活動に影響を及ぼしています。

このため、交通の整流化や地域間の連携強化を図るとともに、地域のまちづくりの観点から、広域ネットワーク及び市内ネットワークの形成を図る道路整備を進めます。

都市計画道路の整備率は約70%となっていますが、都市計画決定から長期にわたって未整備のままとなっている都市計画道路が存在します。時代の変遷とともに、その役割が変化していることから、都市交通のあり方を検討し、都市計画道路の見直しを進めます。



主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線

### 計画事業

#### 1 広域道路ネットワークの整備

##### ● 国道の整備（国道直轄事業負担金）（道路計画課）

道路の渋滞緩和や安全対策を図るために、国が管理する市内の国道の整備（国道357号湾岸千葉地区改良など）を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
国道357号湾岸千葉地区改良	地下立体化及び平面改良工事	地下立体本線及び平面改良工事	供用開始
〃（蘇我地区）	調査	調査	調査
国道51号北千葉拡幅	一部供用	調査・設計、用地取得、工事	工事
国道51号バイパス木更津アクセスマ	調査	調査	調査

##### ● 主要地方道浜野四街道長沼線（大井戸工区）の整備（道路建設課）

交通の円滑化や地域間の連絡強化を図るとともに、震災時の緊急輸送を確保するため、バイパス道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	470m	下田大橋上部工工事 530m	供用開始

●都市計画道路塩田町誉田町線（誉田町）の整備（街路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路の整備を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 38%	1,089 m <sup>2</sup>	取得率 41%

●主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線の整備（街路建設課）

幕張新都心や武石インターチェンジへのアクセス強化を図るとともに、震災時の緊急輸送を確保するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 94%	619 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	470m	390m	

●都市計画道路村田町線沿道地区の整備（街路建設課）

周辺都市との連絡強化等を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
村田町線	用地取得率 82%	用地取得 1,839 m <sup>2</sup>	取得率 92%
関連道路	用地取得率 18% 道路整備 一	384 m <sup>2</sup> 310m	取得率 83% 310m

●都市計画道路幕張町弁天町線（弥生地区）の整備（街路建設課）

快適で利便性の高い道路交通体系を確立するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	1,400m	220m 擁壁築造	1,620m

## 2 環状道路の整備

●都市計画道路磯辺茂呂町線（園生町）の整備（街路建設課）

千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、環状道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 24%	6,070 m <sup>2</sup>	取得率 64%
道路整備	一	橋梁上部工架設工事	橋梁整備

●都市計画道路塩田町誉田町線（塩田町）の整備（街路建設課）

蘇我副都心と千葉東南部とのアクセス強化とともに千葉都心部への通過交通の流入抑制による交通渋滞の緩和を図るため、地域高規格道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 24%	7,088 m <sup>2</sup>	取得率 45%

### 3 都市内幹線道路ネットワークの整備

#### ●都市計画道路大膳野町誉田町線の整備（街路建設課）

千葉東南部や周辺都市との連絡強化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 95%	484 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	192m	240m	

#### ●市道誉田町平山町線の整備（道路建設課）

大宮インターチェンジへのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	5,080 m <sup>2</sup>	430 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	340m	760m	

#### ●都市計画道路南町宮崎町線沿道地区の整備（街路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 91%	897 m <sup>2</sup>	完了
道路整備	200m	220m	420m

#### ●都市計画道路中央赤井町線（鶴の森町）の整備（道路計画課）

国道16号との接続による道路ネットワークの形成を図るとともに、地域交通の利便性と安全性を確保するため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計

#### ●市道横戸町23号線の整備（道路建設課）【再掲】

歩行者等の安全確保及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	2,524 m <sup>2</sup>	780 m <sup>2</sup>	供用開始
道路整備	—	440m	

### 4 拠点アクセス道路の整備

#### ●都市計画道路美浜長作町線（県事業負担金）の整備（街路建設課）

周辺都市との連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路の整備を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	用地取得	用地取得、道路整備	道路整備

### ●都市計画道路誉田駅前線の整備（街路建設課）

J R 誉田駅へのアクセス強化や歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	取得率 17%	1,520 m <sup>2</sup>	取得率 32%

### ●市道平川町30号線の整備（道路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計完了

### ●市道川戸町54号線の整備（道路建設課）

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計

### ●市道若松町金親町線（千城台東工区）の整備（道路建設課）【新規】

地域間の連絡強化及び交通の円滑化を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	—	調査・設計	調査・設計完了
用地取得	—	1,700 m <sup>2</sup>	1,700 m <sup>2</sup>

## 5 ボトルネックの改善

### ●県道幕張八千代線（実粋4号踏切）の整備（県事業負担金）（街路建設課）

地域交通の利便性と安全性を確保するため、踏切の除却（立体交差化）を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	道路整備	道路整備	2車線暫定供用

### ●主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備（道路建設課）【再掲】

歩行者の安全確保及び慢性的な渋滞緩和を図るため、歩道の整備及び交差点の改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	600 m <sup>2</sup>	1,080 m <sup>2</sup>	1,680 m <sup>2</sup> (取得率 73%)

### ●都市計画道路中央星久喜町線（亥鼻）の整備（道路計画課）

交通の円滑化と歩行者の安全確保を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備（旭橋交差点～郷土博物館入口交差点）	調査・設計	調査・設計 用地取得 269 m <sup>2</sup>	調査・設計完了 用地取得 269 m <sup>2</sup> (取得率 40%)
道路整備（郷土博物館入口交差点～西千葉稻荷町線）	—	調査・設計	道路線形の決定

### ●市道幕張町215号線（花立踏切）の整備（街路建設課）

地域交通の利便性と安全性を確保するため、踏切を除却するための道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路整備	詳細設計	関係機関等との調整 立体交差化工事	立体交差化工事

### ●交差点の改良（道路計画課、道路建設課）【再掲】

交通事故の減少及び渋滞の緩和を図るため、交差点を改良します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	3か所(26年度事業量)	11か所	11か所
用地取得	1か所(26年度事業量)	7か所	7か所
整備	2か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

## 6 道路ネットワークの再構築

### ■都市計画道路の見直し（都市計画課）

社会情勢の変化等を踏まえた都市計画とするため、都市計画道路の長期未整備路線の見直しを行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
都市計画道路の見直し	都市計画変更手続き	都市計画変更	都市計画変更

### ●道路交通実態の調査（道路計画課）

渋滞箇所など道路交通の実態をデータで把握し、渋滞対策などの計画立案に活用するため、道路交通情報管理システムを管理・運用します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
道路交通情報管理システムの運用・管理	運用及び保守・管理	運用及び保守・管理	運用及び保守・管理

## 4-3-3 人にやさしい移動環境の創出

### 施策の展開

- 超高齢社会を迎えるにあたり、市民生活のあらゆる場面、特に公共・公益施設のバリアフリー化に対するニーズが一層高まっています。
- 高齢者や障害のある人など、すべての人の移動の円滑化を図るために、鉄道駅から主要施設までの経路など、まちなかの連続的なバリアフリー化や歩道の整備を進めるとともに、駅構内や建物のバリアフリー化を図るなど、すべての人にやさしい、一体的で連続的な移動空間の形成を図ります。

### 計画事業

#### ●鉄道駅バリアフリー化の推進（交通政策課）

鉄道駅の利用を円滑にするため、エレベータ等の設置を促進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
京成電鉄の駅（利用客3～5千人/日）のバリアフリー化	8駅	2駅	完了

#### ●多機能トイレの整備（モノレール）（交通政策課）

モノレール駅のバリアフリー化を進めるため、多機能トイレ等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
モノレール駅多機能トイレ	2駅	3駅	5駅

#### ●歩道の改良（維持管理課）

歩行者等の安全確保を図るために、歩道の段差解消など、歩道のバリアフリー化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
歩道の段差解消	14,815か所	193か所	15,008か所
視覚障害者誘導用ブロック	68.5km	54.7km	123.2km

#### ●市道天戸町横戸町線の整備（道路建設課）

歩行者等の安全確保を図るために、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	69m <sup>2</sup>	4,019m <sup>2</sup>	完了
設計	—	980m	980m

#### ●主要地方道千葉大網線（土気駅北口）の整備（道路建設課）

歩行者の安全確保及び慢性的な渋滞緩和を図るために、歩道の整備及び交差点の改良を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
用地取得	600m <sup>2</sup>	1,080m <sup>2</sup>	1,680m <sup>2</sup> （取得率73%）

### ●蘇我駅周辺地区の整備（まちづくり推進課）【再掲】

蘇我副都心の交通結節機能を高めるため、蘇我駅東口駅前広場の整備を推進します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
東口駅前広場整備	基本設計	道路・交差点予備設計他	道路・交差点予備設計他

### ●生活道路の整備（道路計画課、道路建設課）【再掲】

生活道路の安全性・利便性の向上を図るため、道路を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
調査・設計	7か所(26年度事業量)	12か所	12か所
用地取得	3か所(26年度事業量)	8か所	8か所
道路整備	4か所(26年度事業量)	7か所	7か所(供用開始7か所)

### ●踏切道の安全対策（維持管理課）【再掲】

踏切事故防止のため、踏切内に歩道を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
踏切道の改良	1か所(26年度事業量)	1か所	1か所

### ●電線共同溝の整備（維持管理課）【再掲】

安全で快適な歩行空間の確保及び防災機能の向上を図るため、電線類の地中化を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電線共同溝整備	49.0km	1.3km	50.3km

### ●自転車走行環境の整備（自転車対策課）【再掲】

安全で快適な自転車走行環境を創出するため、自転車レーン等を整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車レーン等の整備	13.9km	23.8km	37.7km

### ●放置自転車対策の推進（自転車対策課）【再掲】

放置自転車を減らすため、自転車等の駐車対策総合計画を見直すとともに、電磁ロック式自転車ラックや監視カメラの設置を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車等の駐車対策に関する総合計画の見直し	—	見直し	見直し
電磁ロック式自転車ラックの導入	117台	724台	841台
監視カメラ設置	18基	91基	109基

**●自転車によるまちづくりの推進（政策企画課）【再掲】**

安全で快適な走行環境や新たなまちづくりなど、自転車によるまちづくりを総合的に推進するため、市民や団体、企業等と連携し、自転車まちづくり基本方針や自転車まちづくり条例を制定します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
自転車まちづくり基本方針の策定	素案作成	策定	策定
自転車まちづくり条例の制定	—	制定	制定

## 4-3-4 ICTを活かした利便性の向上

### 施策の展開

- ⊕ 人口減少や少子超高齢社会など人口構造の変化や、厳しい財政見通しのもと、多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応し、市民サービスの向上や行政の効率化を図るために、ICTを活用した行政情報化や業務の見直しが必要不可欠となっています
- ⊕ ICTによる市民サービスの向上を図るために、滞在時間が最少の区役所、来庁せずとも手続が完了する区役所を目指す窓口改革や、証明書のコンビニ交付などを進めるとともに、保有するビッグデータの分析や社会保障・税番号制度などの仕組みを活用し、市民の利便性の向上や新たな価値の創造を実現する取組みを推進します。また、行政サービスの受給漏れなどを防ぐため、市のホームページ等を確認しなくとも、自分が希望する制度やイベントをお知らせするプッシュ型サービスを導入します。
- ⊕ ICTによる業務効率化と行政コスト縮減を図るために、全体最適の視点から個々の業務を見直す業務プロセス改革を推進するとともに、庶務事務等について最少のコストと人員による効率的な執行を目指すシステムを導入するほか、情報システム基盤についてクラウドコンピューティングなどを活用するなど、財政負担の少ないシステムへの転換を図ります。
- ⊕ これらの取組みを推進することにより、市民にとって最適な手続ができ、市民と最適なコミュニケーションを図ることができる市役所像を作るとともに、その成果を、行政サービスの新しいあり方として全国に積極的に発信していきます。

### 計画事業

#### 1 ICT活用による市民サービスの向上

##### ●区役所窓口改革の推進（業務改革推進課）

区役所における窓口手続の改善や行政コストの縮減を図るために、区役所にワンストップ窓口を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
区役所窓口改革の推進	システム開発基本計画策定	システム開発・運用、総合窓口設置	総合窓口 運用開始

##### ●証明書のコンビニ交付及び自動交付機の整備（市民サービス課）

市民の利便性向上と窓口業務の効率化を図るために、証明書のコンビニ交付を開始するとともに、各区役所に自動交付機を設置します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
コンビニ交付システムの導入	－	システム整備・運用	運用開始
自動交付機の設置	－	設置	運用開始

### ●公共施設予約システムの整備（業務改革推進課）

公共施設の利用者の利便性の向上を図るため、公共施設予約システムを更新するとともに導入施設を拡大します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
公共施設予約システム導入 施設の拡大	69 施設導入	51 施設増	120 施設導入
公共施設予約システムの更新	—	システム更新・運用	運用

### ●電子申請システムの整備（業務改革推進課）

市民の利便性の向上を図るため、電子申請システムを更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
電子申請システムの更新	—	システム更新・運用	システム運用

### ●社会保障・税番号制度導入に伴うサービスの実施（業務改革推進課）

市民の利便性向上及び行政運営の効率化を図るため、社会保障・税番号制度の個人番号カードを活用した新たなサービスを提供します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
個人番号カードの活用	サービス内容の検討	実現可能性調査	サービスの選定

### ●オープンデータの推進・ビッグデータの活用（業務改革推進課）

市民サービスの向上及び新たなサービス創出を図るため、公共データを一般公開するオープンデータを推進するとともに、ビッグデータを活用します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
オープンデータ活用事例の創出	8件	30件	38件
税額明示と使用用途の公開 サービス及び行政コストの可視化サービス	検討・調査	開発・運用	運用
ビッグデータの活用	分析（試行）	分析結果を活用した市民サービスの実施	市民サービスの実施

### ■「あなたにお知らせサービス」の導入（業務改革推進課）

ICTを活用した市民サービスの向上を図るため、希望する市政情報等をメール配信する「あなたにお知らせサービス」を開始します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
「あなたにお知らせサービス」の導入	サービス仕様検討	システム開発・運用	運用開始

### ●図書館システムの改修（中央図書館管理課）【再掲】

社会の変化や利用者ニーズに合わせた、新しい図書館サービスの提供を図るため、図書館システムを再構築します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
図書館システムの改修	現行システム稼働	新システム構築・運用	新システムの運用

### ●ICTを活用した救急業務の推進（救急課）【再掲】

医療機関への収容時間の短縮や救命率の向上及び後遺症の軽減を図るため、救急情報共有システムを整備します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
救急情報共有システムの整備	実証実験	救急情報共有端末設置・システムの運用	運用

## 2 システム運用の効率化とコスト縮減

### ●業務プロセス改革の推進（内部管理システムの導入）（情報システム課）

内部事務に係る効率化と意思決定の迅速化を図るため、財務会計・文書管理システムを再構築とともに、他システムからも利用可能な電子決裁基盤を導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
財務会計・文書管理システムの再構築、電子決裁基盤の導入	開発基本計画策定	システム開発・運用	運用

### ●庶務事務改革の推進（給与課）

市の業務効率化を図るため、庶務事務システム導入により、庶務業務のあり方・進め方を見直します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
庶務事務システムの開発・運用	新業務フロー検討、開発基本計画の作成	システム開発	システム運用

### ●住民情報系システムの再構築（情報システム課）

財政負担の少ないシステムへの転換を図るため、住民情報系システムの再構築を行います。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
第1期（業務共通・介護保険、税務）システム	業務共通及び介護保険システム 運用 税務システム開発	税務システム開発	運用
第2期（福祉）システム	開発	開発	運用
第3期（住民記録、国民健康保険）システム	開発基本計画策定	開発	運用

### ●情報システムの最適化（業務改革推進課）

情報システムの最適化計画に基づき、庁内情報システムの統合サーバへの集約及びクラウドサービスの活用を進めます。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
統合サーバの更新	—	更新実施計画策定	更新実施計画策定
統合サーバ集約	23システム	22システム	45システム
クラウドサービス活用	8システム	1システム	9システム

### ●庁内ネットワークシステムの更新（情報システム課）

ICTを活用した行政事務の効率化と市民サービスの向上を図るため、庁内の情報通信基盤を更新します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
新システム構築	—	構築計画策定	構築計画策定

### ●選挙事務のIT化（投票管理システムの導入）（選挙管理委員会事務局）【新規】

投票事務の効率化を図るため、投票管理システムを導入します。

取組項目	26年度末現況	計画内容	29年度末目標
投票管理システムの導入	—	導入	導入